

第354回:入社したころの中国政界地図

12月末で当社を辞めることになった。といってもクビになったわけではない。今上陛下の5日後、毛沢東の2日後、つまり石原裕次郎、渡哲也、デンゼル・ワシントン、そしてボクが生まれた12月28日に、65歳の誕生日を迎えることになったからだ。今後の去就は流動的・・・ちよっとおおげさかな。

ただ、つまらぬ事情があって、年末に退職することを友人知人に伝えるタイミングが遅れてしまい、先週になって、はじめて関係各位に伝えたため、「どうしてもっと早く知らせてくれなかったの?」と云われ、「すまぬ、すまぬ」と忘年会兼送別会で頭を下げているところである。

弊社に入社して9年、「巨龍のあくび」を書き始めて8年、いつの間にか、本コラムも350回を超えた。
<http://www.toyo-sec.co.jp/china/column/yawn/archive.html>

今後は東洋証券、もしくは別のサイトで掲載を続ける予定だが、これまで特に検閲もせず自由に書かせてくれたわが社には本当に感謝している。諧謔味ある文章を心がけつつ中国の政治・経済・金融・社会方面の話題を取り上げてきたが、諧謔の裏に風刺や批判が潜んでしまうことが多く、寓意やアイロニーで固めた蠢しい駄作も多かったと反省している。

たとえば、中国政治の分析・予測において、最高指導部、つまりチャイナ・セブン入りがほぼ確実視され、前途洋洋たるポジションに居た薄熙来政治局委員を一刀両断し、「重慶のチンドン屋」と云い放った日本のチャイナ・ウォッチャーは、ボクだけであった。業界でもちょっとした話題になり、もしかして彼が失脚するとでも思っているの?その根拠は何?なんてことを聞かれ、「知りません。単なる第六感ですよ」と、金大中事件のときの田中伊三次法務大臣のような答酬をした覚えがある。(第87回「重慶に甦る毛沢東」2011年8月12日)。

いま牢屋で暮らしている薄熙来は大連市長から頭角を現わし、日本の経産相に相当する商業部長経由で、党中央政治局委員(兼・重慶市書記)に抜擢された。だから大連は薄熙来にとって登龍門の地であり、「アカシアの大連」に限りないノスタルジーを感じる日本の財界、特に金融界の爺さんたちに人気のあった知日派政治家であった。

新入社員として大連支店に入社し、その後、日本を代表する大企業のトップに登り詰めた某氏を乗せた日航機が大連空港に着陸したとき、その爺さんが数十年ぶりの大連との邂逅に感極まり、そっと涙を拭うのを見たと同行した秘書から聞いたことがある。

これまた日本を代表する大企業の経営者は、大連を訪問し、薄熙来市長(当時)を表敬訪問したとき、自分の出生地に関する市長のいきな計らいに接して感涙に咽んだらしく、日経新聞の「交友抄」に、“老朋友”と題した文章を寄稿されている。

ボクが東洋証券に入社したのが、2007年の9月。その2か月後に中国共産党の第17期大会が開かれ、25人の政治局委員が選ばれ、彼等の互選により9人の政治局常務委員(チャイナ・ナイン)が誕生した。

このとき政治局委員をすっ飛ばして、中央委員からいきなり政治局常務委員になった習近平と李克強を

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

含め、新任の政治局委員は筆画順に、徐才厚、李源潮、王岐山、劉延東、王剛、汪洋、張高麗、薄熙来の合計10名であった。(注:現最高指導部の張徳江、俞正声、劉雲山は新任ではなく留任)。

あとき、党中央政治局の昇格人事を見て、サプライズの少なかった順番に彼らを並べると、こんな感じであった。これは筆者だけでなく、当時のチャイナ・ウォッチャーの、ほぼ共通した認識であったはずだ。(注:太字は現チャイナ・セブン)

①**李克強**。一番と云うことは大本命の意である。共産主義青年団第一書記の経験者として、これまでの胡耀邦、王兆国、胡錦濤、李克強と続く人脈を見れば、誰だって彼を第一に上げる。

②**王岐山**。岳父が姚依林元副首相(元チャイナ・ファイブ)の太子党に加え、過去のアジア金融危機やSARS騒動時の実績も十分な有名人。将来の首相だとボクは思っていた。

③**薄熙来**。実父が鄧小平を支えた元老・薄一波。太子党の代表と云えば彼に止めを刺す。(後に失脚)

④**王剛**。江沢民前主席が送り込んだ側近。

⑤⑥**李源潮**と**汪洋**。共青团出身の代表的人物。

⑦**徐才厚**。軍人枠から一人とすれば、制服組トップの彼しかいない。(後に失脚)

⑧**劉延東**。むかしから共青团のプリセンスとして有名な存在、女性枠としての登用と思った。

そして、サプライズ人事が⑨**習近平**と⑩**張高麗**の両名。お二人とも17期大会の直前の3月に、それぞれ浙江省から上海市書記に、山東省から天津市書記になって初めて政治局入りの意図を知ったが、それまでは中国の専門家ですら30数名の省市自治区のトップの一人として押さえていただけの存在だった。

だから習近平が飛び級でチャイナ・ナイン入りしたとき、元老の江沢民が、胡錦濤グループの勢力を削ぐために、共青团派ではなく太子党派の人物を抜擢しようと図り、最も優秀だが野心家の薄熙来ではなくて、担ぎ易い神輿の習近平を選んだのではと思った。

()の中を適切な語句で埋めなさい。

問題:ベートーベンは1770年、()のボンで生まれた。

正解:ドイツ、正確に云えば「神聖ローマ帝国ケルン大司教領」。

別解:「ええとこ」。

習近平さんの大出世について考えると、なぜかこの珍回答を思い出す。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成28年12月5日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金) に現地委託手数料と税金等を買の場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040